

## 「長野市優良工事」を受賞しました (松代城跡太鼓門前橋外整備工事)

2024年8月20日(火)、「令和6年度 長野市優良工事表彰式」において、当社施工の「松代城跡太鼓門前橋外整備工事」が成績優秀と評価いただき、優良工事を受賞しました。各関係者の皆様に御礼申し上げます。

下記において、長野市松代についてのご紹介や今回の工事の詳細などをレポートいたします。

### ○松代城とは

---

松代城の歴史は、永禄3年(1560)、甲斐の武田信玄が、越後の上杉謙信との「川中島の合戦」(1553-1564)の際に築城した「海津城」が松代城のはじまりとされています。その後、戦国の動乱とともに城主が移り変わり、森忠政が城主となった慶長5年(1600)に「待城」と改名されました。次の松平忠輝の時に「松城」と呼ばれるようになり、その後、元和8年(1622)に真田信之が上田から移封され、真田3代目藩主幸道のときに幕命により「松代城」と改名されました。

松代城は戦国時代に築城されて明治時代まで存続した城で、300年以上の間、北信濃における拠点的な場所でした。廃城後は建物を失ったために、城としての景観を大きく失っていましたが、長野市はこの貴重な文化遺産を後世に伝えるため、平成の大普請(環境整備工事)を行い、城跡を修理・復元しました。よみがえった城門や木橋、石垣、土塁、堀などは江戸時代終わりごろの姿に限りなく近い状態で再現されています。

(長野市公式ホームページより抜粋)

---

### ○長野市の観光戦略について

長野市では文化財施設を観光資源として位置づけ、この令和6年4月より文化財課と関連施設を「教育委員会組織から観光文化部に移管」するなど、組織の再編が行われています。それだけ「長野市の文化財」が観光資源としての魅力が高く、またPRにも活用可能と判断されているのです。そのような観光都市「ながの」にとって、つまり長野市及び長野市民にとって文化財施設大切なものであるといえます。

### ○「北信土建」と松代とのつながり

北信土建は松代とのつながりが深く、明治40年、北信土建の前身となる土木建築請負業野澤組を松代にて創業いたしました。近年では現在までに、国史跡指定の「真田邸（新御殿）」や「松代藩文武学校」など周辺文化財施設の修繕・補修を多数手がけています。

真田邸（新御殿）



[真田邸-信州松代観光協会](#)

松代藩文武学校



[松代藩文武学校-信州松代観光協会](#)

### ○長野市優良工事表彰について

長野市優良工事表彰とは建設工事における施工の適正化と施工技術の向上を図ることを目的に制定されたものです。 [長野市優良工事表彰実施要領](#)

今回の令和6年度表彰工事は、対象工事数が「687件」。そのうち「優秀」の評価が「129件」。選定委員の現地調査、協議を経て129件のうちの「12件のみ」が今回の優良工事として認められ、表彰にいたりました。受賞の難易度が伺えるとともに、長野市の観光資源である文化財施設においては、当社が受賞した松代城跡太鼓門前橋外整備工事の1件のみとなっており、賞の重みを実感いたします。

また、『松代城の魅力向上につながる整備となった。美観が優れた仕上がりになった。』と高い評価をいただきました。

今回の表彰式で、荻原健司長野市長がご挨拶の中で、『地域の建設業者に期待することは、社会資本整備の担い手・地域の守り手となること』とおっしゃられていました。これらの期待に応えられるよう、これからも業務に邁進してまいります。

## ○工事エピソード

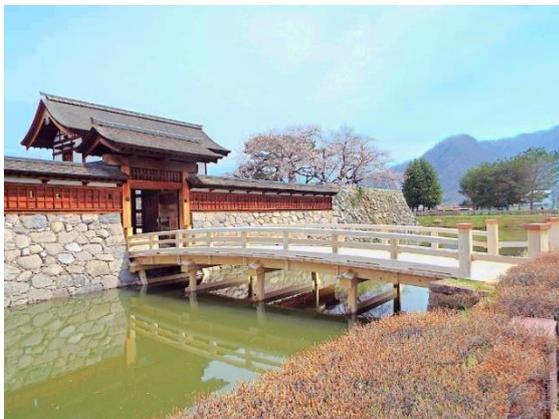
土木事業部の公園整備の施工能力、建築事業部の文化財維持修繕に関する知識を融合した工事でしたので、当社としても大変意義深い工事となりました。

4月3日の渡り初め式イベントでは市長をはじめ、地域の皆様が松代城の歴史を感じながら太鼓門前橋を渡られました。観光資源として多くの観光客が訪れる名所旧跡として、長野市の皆様の憩いの場として、松代城がこれからもたくさんの方々に愛されることを期待します。



渡り初め式の様子

## 工事概要



- ・ 工事名 松代城跡太鼓門前橋外整備工事
- ・ 住 所 長野市松代町松代
- ・ 工 期 2022年12月19日～2024年3月15日
- ・ 現場代理人 本望 正史
- ・ 概 要 門前橋架け替え